

◇ 人権童話会 ― おじんとみずきの童話と歌の会 ― 12/6 (火)

12月4日～10日の「人権週間」において、まずは12/5(月)の朝会で「相手の気持ちになって考えよう」「互いの違いを認め合おう」の2点について校長講話を行いました。続いて翌日に本校初の企画となる「おじんとみずきの童話と歌の会」を開催し、全校で人権について考える機会としました。「おじん」の本名は、鬼頭 隆(たかし)さん。詩人・童話作家として、主に学校関係を中心に年間40回ほどの朗読会を開催している方です。「みずき」は、おじんの娘さんで、鬼頭瑞希さん。自ら作詞作曲した曲を携えて、各学校や施設などでコンサート活動を行っているシンガーソングライターであり、ピアニストです。その場の雰囲気に合わせてアレンジしながらの演奏を得意とし、今回は朗読に合わせた歌やピアノ演奏がとても素敵でした。

子どもたちは初めての童話会に最初は緊張した様子でしたが、感情のこもった迫力のある朗読や美しい歌声を楽しみながら、人権について学びました。

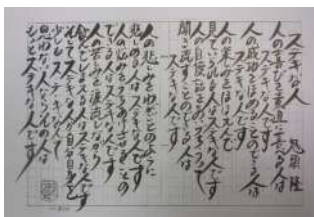
人権教育というと、とくく難しいイメージがありますが、童話の朗読を聞いたり、歌を楽しんだりしながら自然に人権について学ぶことができる素敵な時間となりました。



各クラスで決めた人権目標を発表する子どもたち



「おじん」の迫力ある朗読と、みずきさんのピアノ演奏

当日、朗読された詩の一つ「ステキな人」
この詩の直筆が校長室前廊下に展示してあります。

おじん直筆の詩のプレゼントに湧き上がる会場

◇ ちょっといい話 「給食ってすばらしい！」 11/28(月)朝会から

本校の朝会は、教員が順番で全校児童に話をしています。11月28日は、給食主任の服部先生の順番でした。

「三ツ星の給食」というドラマを観たことがありますか、という問いかけから始まり、給食主任らしく、ドラマの内容に触れながら、給食についてかなりやすく児童に語ってくれました。そのなかで、特に私自身が「なるほど」と強く印象に残っている部分を紹介します。

- 給食を作るには、たくさんルールがあります。
- ・前の日から野菜を切るなどの準備をしないといけない。
 - ・12栄養素という決められた栄養が入っていないといけない。
 - ・塩は2.5グラムよりたくさん使っちゃいけない。
 - ・1食平均640キロカロリーをを守らないといけない。
 - ・時間通りに作り終えないといけない。
 - ・一人分を250円以内で作らないといけない。

実はもったくさんのルールがあります。(以下省略)

とても素敵で、児童の心に残る講話となりました。給食ってありがたいですね。



<12月19日の献立>

◇ 知多市 読書感想文・読書感想画コンクール 12/17(土)中央図書館

読書感想文は、市内の小学校から4,686点の応募があり、そのうち12点が優秀賞として表彰されました。本校からは、永井湧人(2年)さんと小林寛拓(3年)さんが優秀賞を受賞しました。また、読書感想画は、市内小学校から1,866点の応募があり、そのうち12点が優秀賞として表彰されました。本校からは、森川達也(3年)さんと長谷川駿助(5年)さんが優秀賞を受賞しました。4人とも大変よくがんばりました。おめでとうございました。

◇ 2学期の反省と3学期の展望

2学期は数多くの行事が実施され、あわただしい毎日でした。また、いくつかの生徒指導上のトラブルも重なり、安心安全な学校運営の難しさを肌で感じ、反省した学期でもありました。さまざまな行事を通して子どもたちが培い、身に付けていく力は、企画力、表現力、コミュニケーション力、協調性、リーダーシップ等、たくさんあります。しかし一方で、行事によるあわただしさから日々の学校生活が落ち着かず、そんなときにトラブルが起きやすいのも事実です。

3学期は一年の締めくくりの学期です。各学年における学習内容を十分にやり終え、次の学年にスムーズにつなぐことができるように、学習を中心とした落ち着いた学校生活が展開できるように学校運営を進めてまいります。ご家庭においても家庭学習の習慣が身に付くよう、改めてご支援をお願いします。

校長室から

朝の学校は冷え切っていてかなり寒いです。なかでもコンクリートで囲まれ、風が自由に入り込む廊下の寒さは格別です。日々の巡回の体験から、私が本校の寒さランキングを付けるとすれば、最も冷え込むのは北館の1階廊下です。太陽光が当たらないことに加え、渡り廊下からの冷たい風が容赦なく流れ込んでくるためかなり冷えます。廊下の窓からは竹林を通った北風がまともに入ってきます。北館1階にある各教室も南館にさざられるため特に午前中は太陽光が入りにくく、晴れた日でも冷えます。(もちろん、夏に一番涼しいのは北館1階です。)

今、各家庭の冷暖房の整備がかなりよくなり、学校だけが取り残されている感じがします。本校の暖房設備の実情は、各教室に家庭用の石油ファンヒーターが1台あるだけです。石油ストーブですから、こまめに換気する必要があります。温まった空気も換気のために冷え切ってしまいます。

もちろん、どんな境遇でも頑張れる子どもを育てることは大切ですが、学習環境は授業中の集中力に大きく影響を与えます。30度を超える夏の蒸し暑い教室や、震えるほどに冷え込んだ教室では子どもの集中力は続きません。先日、ある銀行に「ウォームビズ実施中」とありました。暖房の温度を控えめにする代わりに、働く人が服装で調整するという宣言でした。夏の「クールビズ」の冬バージョンです。3学期は3月に寒い日が多くなります。本校も「ウォームビズ」宣言を採用します。お子様の体調に合わせ、ぜひ調節しやすい服装を着用させてください。

それでは、健康に気を付け、よい年末年始をお迎えください。